

真宗大谷派坊守会連盟主催  
宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗八百年慶讃記念大会参詣

東本願寺

Shinran  
850

親鸞聖人と生きた二人の女性  
妻惠信尼様と娘覚信尼様  
に出会う旅

2023年4月10日(月)~11日(火) 1泊2日

親鸞聖人のご生涯を知らしめたものは、惠信尼様が覚信尼様に宛てられたお手紙でありました。親鸞様と生き、伝えた、大事な方たちでありながら、語られることの少ない、妻惠信尼様と、末娘覚信尼様にお会いしてまいりましょう。ホテルはシングル使用にいたしました。安心してご参加くださいませ。

行程

※1日目はAコースかBコースどちらかを選択願います。

4 / 10 (月)	新 潟 空 港 集 合	ANA3172 9:40	伊 丹 空 港	10:50	京 都 市 場	錦 市 場 (自由風食)	(Aコース) 崇 谷 院 大 谷 本 願 寺 善 法 坊 跡 六 角 堂	京 都 市 内 食 内 20:00 京 都 市 内 ホ テ ル スマイル ホ テ ル 京 都 四 条 ※ シ ン グ ル
	史上最大の親鸞展。教行信証の原本、お東・お西・高田の三種類が揃うそうです！この価値は、バスの中で解説有り！	京都南座 4月特別公演 「若き日の親鸞」 ※S席						
4 / 11 (火)	京 都 市 内 ホ テ ル	8:30	京 都 国 立 博 物 館	「親鸞聖人人生誕850年特別展 親鸞一生涯と名宝」 ※午前中ゆっくりと鑑賞	京 都 市 内 食 内	真宗大谷派坊守会連盟主催 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年慶讃記念大会参詣  講師 山崎 龍明氏 「苦難の中で輝く信一親鸞聖人と 惠信尼さまの手紙を通して」	伊 丹 空 港 17:00 自 由 風 食 ANA1663 19:20 新 潟 空 港 20:25 (空港解散)	

◆旅 費 Aコース 75,000円 (冥加金2,000円を含みます。)

Bコース 82,000円 (冥加金2,000円を含みます。)

※詳細は裏面をご覧ください。

企画主催 三条教区坊守会

旅行主催 新潟ビーエス観光

新潟県知事登録旅行業2-143号 総合旅行業務取扱管理者 飯泉隆史



(一社)全国旅行業協会正会員

TEL : 0258-34-4848

FAX : 0258-34-0227

email : niigata.bs@jeans.ocn.ne.jp

〒940-0041 長岡市学校町3-12-4

# 真宗大谷派坊守会連盟 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃法要記念大会のご案内

## 開催趣旨

慶讃法要記念事業として、親鸞聖人の配偶者であり、念仏弾圧更には戦乱、飢餓、飢饉といった生きることさえ厳しい社会状況の中を、親鸞聖人とともに念仏のみ教えを生き抜かれた恵信尼さまをテーマとした記念大会を開催いたします。

この大会が『恵信尼消息』を通して、恵信尼さまの生き様に焦点を当て、そこから顧かとなる問いかけを聴く場となり、お寺に身を置く私たちが今を生きるということについて、教えに我が身を照らし問い続けていく歩みにつながることを願いいたします。

期 日 2023年4月11日(火)

会 場 御影堂

講 師 やまざき りゅうめい  
山崎 龍明氏



龍谷大学大学院修士課程修了。本願寺教学本部、龍谷大学、駒澤大学で講師を務めた後、武蔵野大学教授となる。現在、武蔵野大学名誉教授。WCRP日本委員会平和研究所名誉所長。仏教タイムス社代表取締役。浄土真宗本願寺派法善寺前住職。

講 題 「苦難の中で輝く信 -親鸞聖人と恵信尼さまの手紙を通して-」

冥 加 金 2,000円 納め方は、各教務所か教区坊守会長へおたずねください。  
ご欠席された場合の返金はいたしかねますが、代わりに記念品をお渡しします。

募集人数 1,000人 託児室の準備があります(無料)

持 参 品 念珠、『真宗大谷派勸行集』(赤本)、間衣・輪袈裟または坊守章、筆記具等

申込期限 各教区で参加者の取りまとめを行いますので、**2022年12月15日(木)までに**  
各教務所か教区坊守会長へお申し込みください。  
託児を希望の方はあわせてお申し込みください。

日 程 12:00 開場 教区ごとに座席が決まっています。12:50までにご着席ください。

13:00 開会式  
真宗宗歌  
勸行  
坊守会連盟委員長挨拶  
門首挨拶  
宗務総長挨拶

13:50 講義(2時間)  
(間に休憩20分挟む)

16:10 閉会式  
副委員長挨拶  
恩徳讃

なお、新型コロナの感染状況により変更する場合があります。  
自家用車の駐車スペースはありません。

主催：真宗大谷派坊守会連盟

ご不明な点などございましたら、真宗大谷派宗務所 組織部 TEL:075-371-9187 までご連絡ください

## 親鸞聖人生誕850年特別展

「親鸞一生涯と名宝～史上最大の親鸞展～」

京都国立博物館



国宝 親鸞聖人影像  
(安城御影副本) (部分)  
京都・西本願寺  
<3月25日～4月2日展示>

いまこそ、  
親鸞の  
声を聞く。



浄土真宗を開き、今なおその魅力あふれる教えで多くの人を惹きつけてやまない親鸞聖人（1173～1262）。今展では京都西本願寺・東本願寺、三重専修寺などの所蔵する親鸞ゆかりの名宝、約170件が集結。

国宝11件、重要文化財約70件、親鸞自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語を含む史上最大規模の親鸞展として、日本の仏教史に偉大な足跡を残した巨人の歩みを紹介します。

### 主著『教行信証』

専修寺



高田本  
重文

東本願寺



坂東本  
国宝 親鸞自筆本

西本願寺



西本願寺本  
重文

今回の展覧会の目玉のひとつ。親鸞の自筆本を含む「教行信証」3本（坂東本・西本願寺本・高田本）が史上初めてそろって展示される。「教行信証」は多くの經典と注釈書から念仏往生に関する文を引用し、自身の信仰を体系化した親鸞の主著。

### 舞台公演『若き日の親鸞（仮題）』

原作：五木寛之

松竹株式会社「南座」主催

「生きる喜びとは何か-動乱の京都に生まれた、若き親鸞の青春物語」



親鸞聖人役 藤山扇次郎(ふじやませんじろう)

祖父は藤山寛美 伯母は藤山直美

妻は宝塚歌劇団の元星組トップ北翔海莉(ほくしょうかいり)



1～3階客席のある南座 舞台・客席



南座の建物は国の登録有形文化財



親鸞の妻、恵信尼は、流罪となった親鸞を支え、東国に移住してからは各地を転々とし、晩年は板倉で暮らしました。飢饉のなか、子どもや孫たちまでも面倒をみるといった苦難にも負けず、逞しく、ときにはユーモアをもって、当時としては稀な87歳をこえる長寿を全うしました。  
 覚信尼に宛てた「恵信尼文書」は、恵信尼や親鸞の生活をあざやかに描き出し、また鎌倉時代の女性の筆による史料として貴重なものとなっています。

覚信尼は、親鸞の末娘。親鸞52歳の元仁元年(1224)、関東で誕生されました。親鸞が関東から京都へ移住し、命終されるまで彼女は常に親鸞のそばにいらっしゃいました。また、同年は「立教開宗」の年とされています。恵信尼が越後へ帰郷した後、親鸞の身の雑事を助けたのは覚信尼です。親鸞が弘長2年(1262)11月命終され、それに立合い、葬送・収骨などの諸事対応に携わったのも、覚信尼でありました。  
 2023年は立教開宗800年であり、覚信尼誕生800年にあたります。



崇泰院(そうたいいん)  
 覚信尼らが親鸞聖人の墓所「大谷廟堂」を建てた所。「大谷本願寺故地」の石碑があります。



大谷本願  
 「覚信尼公碑」があります。



覚信尼公碑



六角堂  
 聖人が「女犯偈」の夢告を受けた所です。



善法坊跡  
 聖人入滅の地。覚信尼が看取られた。

- ◆期 日 2023年4月10日(月)～11日(火) (1泊2日)
- ◆旅 費 Aコース 75,000円 (冥加金2,000円を含みます。)  
 Bコース 82,000円 (冥加金2,000円を含みます。)
- ◆申込金 10,000円 (旅費充当)
- ◆募集人数 40名 (最少催行人数20名)
- ◆申込〆切 2022年12月10日(土)
- ◆申込先 各組坊守会長

### ご案内

- 「慶讃記念大会」だけの参加(現地集合現地解散)も可能です。「慶讃記念大会」には託児もあります。12月10日までに各組坊守会長へお申し込みください。後日、当日の座席と詳細をお伝えいたします。
- 持参品:念珠、『真宗大谷派勤行集』(赤本)、間衣・輪袈裟または坊守章、筆記用具

### 旅行条件

◆御出発からお帰りまで添乗員が同行しお世話致します ◆旅行代金は出発日の15日前までにお支払い下さい ◆取消日は旅行開始後の前日を1日とし数えます。

お申込み後、旅行を 取り消された場合の取消料	取消日	8~20日前	2~7日前	1日前	当日及び無連絡不参加	旅行開始後の一部取消・前途放棄
	%	20%	30%	40%	50%	100%

- ◆運輸機関のスケジュール・運賃などの変更により日程・旅行代金を変更する場合《旅行代金の追加収受》がありますので予めご承知下さい。
- ◆最少催行人員に満たない場合は旅行を取り止める場合があります。この場合は出発7日前までに御連絡致します。
- ◆万一の場合の特別補償金は最高1,500万円です。◆その他の旅行条件につきましては、当社「旅行業約款」によります。◆利用予定貸切バス:越後交通

## 親鸞聖人と生きた2人の女性 妻恵信尼様と娘覚信尼様に出会う旅 申込書

組	寺院名	寺	コース	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B	生年月日	年 月 日
氏 名		住 所			電話番号	
					自宅:	
					携帯:	